

北部機械金属業界の景況動向

(2010年1~3月実績/2010年4~6月見通し)

○ 調査対象：舞鶴市以北3市2町の機械金属関係企業125社 【調査時点 平成22年3月下旬】

○ 回答数：77社（内訳は以下のとおり）

① 市町別 = 舞鶴市 14、宮津市・与謝野町・伊根町 12、京丹後市 51

② 業種別 = 一般機械 27、電気機械 6、輸送機械 14、精密機械 18、その他 12

(区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等

電気機械…家電部品、電子部品等

輸送機械…自動車部品、船舶等

精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等

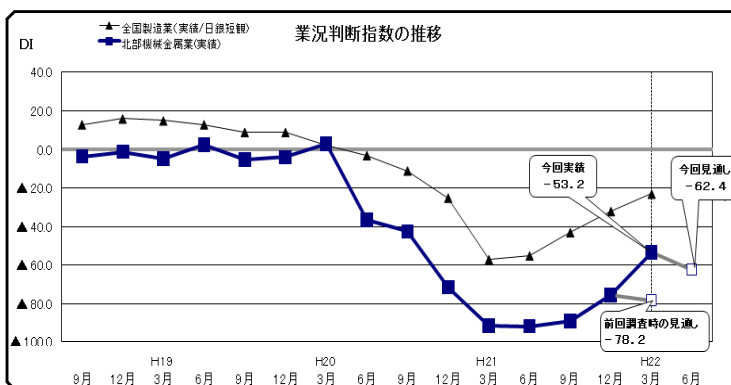
③ 従業員数別 = 10人未満 23、10~50人未満 29、50人以上 12、不明 13

※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：財団法人京都産業21北部支援センター】

— 調査結果 —

1 景況動向判断

● 1~3月実績のDI（業況判断指数）は、前回調査(10~12月分。以下「前回」という)の-75.6から22.4ポイント上昇し-53.2となり、3期連続で上昇した。地域別では、舞鶴市域が-42.9（前回-92.3）、宮津市・与謝2町域は-25.0（同-83.3）、京丹後市域は-62.7（同-68.9）と、マイナス域ながら全地域で改善した。特に舞鶴市域で49.4、宮津市・与謝2町域で58.3ポイントの大幅な上昇となった。景況の回復傾向が見られるが、「非常に良い」「良い」とした企業が10.4%にとどまる一方で、「悪い」「非常に悪い」とした企業が63.6%と、未だに6割を超えている。注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)



● 業種別では、電気のみが16.6（前回20.0）と僅かに低下したが2期連続でプラス域となった。また、一般-77.8（同-82.6）、輸送-42.8（同-92.3）、精密-55.4（同-73.6）、その他-41.6（同-90.0）の4業種においては、前期に比べマイナス幅が縮小している。

● 4~6月見通しのDIも、前回-78.2よりも15.8ポイント上昇の-62.4となった。しかし、「悪い」「非常に悪い」とする企業が65.2%を占めており、業種別では「良い」とする業種は、その他のみとなった。中小企業製造業でも景況の持ち直し傾向がうかがわれるが、なお厳しい見通しが続いている。

業種	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	1.3	9.1	26.0	50.6	13.0
一般		22.2	66.7		11.1
電気		33.3	50.0		16.7
輸送		14.3	28.6	50.0	7.1
精密		5.6	22.2	44.4	22.2
その他		16.7	25.0	50.0	8.3

業種	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	2.8	32.0	56.9		8.3
一般		26.1	69.6		4.3
電気		50.0	50.0		
輸送		42.9	50.0		7.1
精密		27.8	55.5		16.7
その他		18.2	27.3	45.4	9.1

2 採算状況

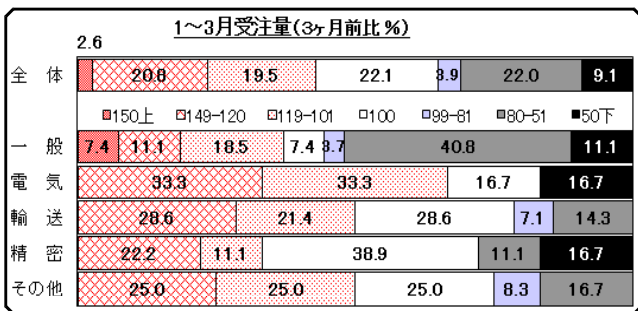
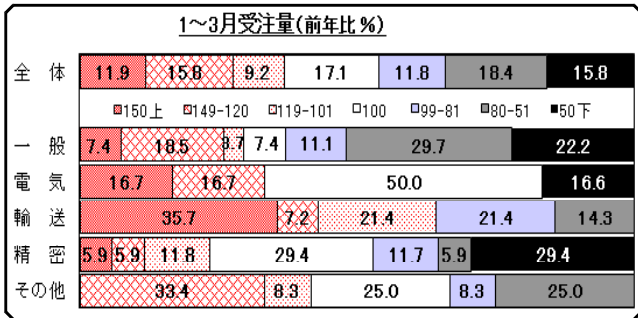
● 1~3月の採算状況は、黒字とする企業が10.5%（前回4.3%）、赤字とする企業は56.6%（同74.3%）となった。全体的に若干の改善傾向が見られるが、依然として過半数以上の企業が苦しい経営環境に置かれている。

● 業種別では、電気を除き、4業種で赤字が黒字企業を上回り、特に一般・精密・その他では50%以上となった。また、黒字とする企業は、一般が皆無であり業種間での差が見られた。

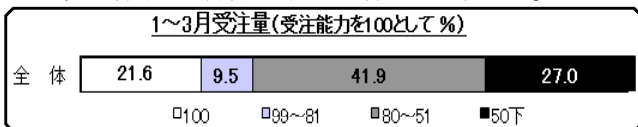
業種	黒字	トントン	赤字
全体	10.5	32.9	56.6
一般		29.6	70.4
電気	16.7	66.7	16.6
輸送	28.6	28.6	42.8
精密	11.8	23.5	64.7
その他	8.3	41.7	50.0

3 受注量

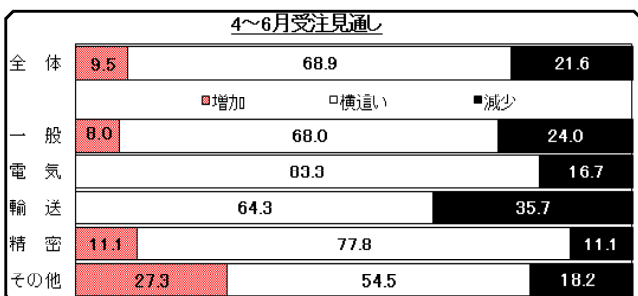
- 1～3月の対前年比受注量は、景況悪化によりD I値が初めて-90を超えた時期との比較となり、100%以上を確保した企業は54.0%（前回17.9%）と大幅に増加した。業種別では、一般を除き4業種で5割以上の企業が100%以上を確保した。また、対3箇月前比100%以上を確保した企業は、65.0%（同47.8%）で過半数を超えた。業種別では、一般を除き4業種で7割以上の企業が100%以上を確保した。



- 受注能力を100とした1～3月受注量（稼働割合）では、100%とした企業は21.6%（前回8.7%）と増加した一方で、80%以下とした企業は68.9%（同82.6%）と依然として高い傾向にある。業種別では、全業種で満杯とする企業が一部ある。

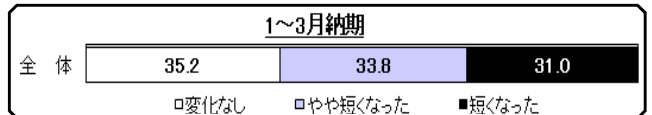


- 4～6月受注見通しでは、増加を見込む企業の割合は9.5%（前回9.8%）とほぼ前回並みとなった。一方、横這いを見込む企業は68.9%（同47.6%）と増加、減少を見込む企業は21.6%（同42.6%）と半減した。業種別では、電気・輸送で増加を見込む企業が皆無となっている。



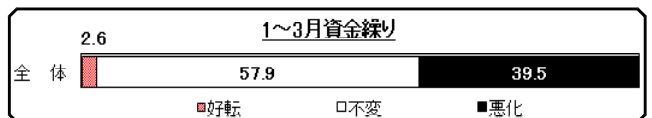
4 受注条件（受注単価／納期）

- 受注単価について、単価が上がった企業は皆無で、下落したとする企業が46.0%（前回63.7%）と減少し、維持とする企業が54.0%と約過半数を占めた。納期については、「短くなった」又は「やや短くなった」とした企業が64.8%（前回66.7%）と、ほぼ横這いとなった。



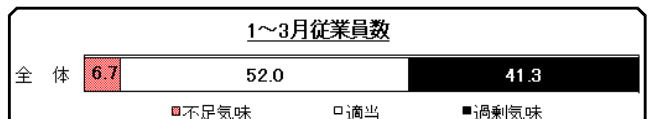
5 資金繰り

- 資金繰りについて、好転とした企業は2.6%（前回1.5%）と僅かに増加、不変とした企業は57.9%（同30.4%）と増加し、悪化とした企業は39.5%（同68.1%）と減少した。



6 従業員数

- 従業員数は、不足気味が6.7%（前回5.9%）、適当が52.0%（同39.7%）、過剰気味が41.3%（同54.4%）となり、過剰感が減少した。業種別では、電気・輸送・その他で不足気味とする企業がある一方で、一般の過半数以上が過剰としている。



7 今春の新規採用（正社員）

- 回答のあった77社のうち、採用ありとした企業は11社であった（未回答3社）。業種別では、電気が1社、一般・精密・その他が2社、輸送が4社となり、全業種で技術職のみの採用となった。

採用者の職種・学歴等	高校卒	専門学校卒	大学卒	その他(転職等)	計(人)
技術職	8	3	5	4	20
事務職	-	-	-	-	0
計(人)	8	3	5	4	20

8 設備投資

- 設備投資は、「実施中」又は「計画中」とした企業は22.4%（前回15.8%）と2期連続で上向いた。業種別では、電気を除き4業種で「実施中」又は「計画中」の企業がある。

